

☆ビュッフェ形式☆

＜重度障害者を支援する＞実践者のための 視線&スイッチ入力のシンポジウム in 盛岡

趣 旨

重度障害者にとって「視線入力」はそのポテンシャルの高さは理解されつつも、機器が高額であったり、使用方法が難しいなどの点から、気楽に活用できる環境にありませんでした。一方で、この数年で安価な装置も登場し、特にコミュニケーションや特別教育支援において大きな成果が認められるようになってきました。また、依然として「スイッチ入力」が十分に活用されていない現状があります。

そこで、本シンポジウムでは「視線入力」のみならず「スイッチ入力」に関して、第一線で活躍する開発者・研究者・支援学校教員・当事者などを一同に集めて濃密なワークショップ（個別指導）を行うこととなりました。

日 時 2018年9月17日（月）09時30分～16時00分

前日の9月16日（日）には18時より盛岡駅近くで懇親会を行います（参加自由）

場 所 岩手県立大学アイーナキャンパス（いわて県民情報交流センター7階）
会場：学習室1 ほか

定 員 約50名

参加費 一般 2,000円・学生 1,000円

* 資料代として

* 障害当事者につき介助者1名まで無料

* 呼吸器ユーザーの介助者は2名まで無料



タイムテーブル（暫定版）

時間	企画	内容
9:00	開場	
9:30～10:00	オープニング	講師紹介もします
10:00～12:00	事例紹介（5～6件）	講師による事例発表と質疑応答を行います
12:10～12:50	ランチセッション	（お楽しみに）
13:00～14:30	ビュッフェ形式の個別指導	1コマ15-30分で全講師がワークショップや個別相談会を行います
14:40～15:30	パネルディスカッション	講師のうち数名による熱いディスカッションと質疑応答を行います
15:30～16:00	まとめ&クロージング	集合写真をここで撮ります

講師

(順不同)

氏名	所属／スキル	テーマ／内容
福島 勇	福岡市立今津特別支援学校 ・教諭 ・特別支援教育ブロガー＆ユーチューバー	「振動フィードバックと併せて使いたい視線入力」 重度・重複障害とか重症心身障害と言われている子どもたちが因果関係を学ぶ手段の一つとして視線入力に取り組んでいます。その際に使うアプリの選定と併せて振動フィードバックを効果的に使うことが重要な要素であることを紹介します。
中島 勝幸	株式会社ユニコーン ・代表取締役 ・miyasuku EyeCon開発者	「全国行脚で得た『生の情報』をフィードバック！」 現場でのセッティングや設定方法、その他行政との折衝（補装具申請等）について、実際の導入に関する情報を紹介します。
原田 稜大	栃木県那須塩原市立黒磯中学校 ・SMA1型当事者 ・MMDクリエイター ・視線入力マスター	「視線入力&スイッチ入力を日常生活にいかす！」 SMA1型当事者による視線およびスイッチ入力環境をお見せします！また、MMDの操作も実演いたします。
引地 晶久	西部島根医療福祉センター ・作業療法士 ・島根県内の視線入力実践者	「重症心身障害と視線入力と作業療法」 作業療法士として反応の乏しい重症心身障害児者と関わる中で、視線入力と出会い、彼らの可能性は無限にある！と強く感じるようになりました。施設内を視線入力を持って走り回り、反応の引き出し・遊び・学習など様々な活動をしています。またご家族や学校との連携など、作業療法士ならではの視点でお話しできればと思っています。
板倉 ミサヲ	瑞雲荘（入所者） ・77歳の女子高生 ・スタイラスでiPadフル活用 ・四肢麻痺の車いす利用者	「iPadと自作スタイラスで女子高生やってます」 四肢不自由でもiPadを活用して自習や訪問授業をこなしています。教科書は自炊してiPadに入れ、アプリを活用して学習しています。そんな模様をお見せします。
藤山 健二 高橋 正義	秋田県立秋田きらり支援学校 ・支援学校での積極的な視線入力の取り組み	「こうやって授業で使ってます」 きらり支援学校での視線入力を授業で活用している事例を紹介します。
菊池 直実	岩手県盛岡青松支援学校	(岩手県内の事例紹介)
及川 勝利	岩手県花巻清風支援学校	(岩手県内の事例紹介)
伊藤 史人	島根大学総合理工学研究科助教 ・EyeMoTシリーズ ・振動フィードバックシステム バイブマン開発者	「視線入力訓練ソフトEyeMoTの上手な使い方」 支援学校や病院でのEyeMoTの具体的な活用方法について相談に乗ります。視線履歴を使ったアセスメントや文字学習につなげるための方法などについてもお伝えします。
(その他)		

【申し込み】 期限：9月15日17時

メールもしくはFAXでお申し込みください。

【FAX】 FAX番号： 019-903-0332 下記、FAX用送信シートをご利用ください。	【メール】 宛先： ictiwate2017@gmail.com 件名：盛岡場所2018申し込み 本文：（以下の内容を明記してください） 氏名／所属／職種／講師への質問（任意）
--	---

【FAX用送信シート】

氏名	所属	職種	質問等

代表連絡先（必須）	電 話： メー ル：
------------------	-----------------------------

主 催 島根大学総合理工学研究科 伊藤史人／岩手県立大学社会福祉学部 小川晃子
協 力 i-C²いわて

後 援 岩手県／岩手県教育委員会（予定）／岩手県社会福祉協議会
／岩手県難病・疾病団体連絡協議会／岩手県重症心身障害児(者)を守る会

実行委員 実行委員長 伊藤史人／小川晃子／菊池直実 ほか

☆問い合わせ☆ ictiwate2017@gmail.com / 090-2608-5156（菊池）